

伊予三島ロータリークラブ



寛政七年正月八日
しづけしや
春を三島の
ほかけ舟
一茶

三島公園 小林一茶句碑

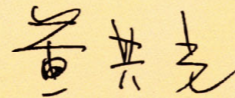
ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

事務局 四国中央市金生町下分865 四国中央商工会議所内
http://www.iyomishima-rc.jp TEL (0896) 58-3530
E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp FAX (0896) 58-6294
例会 金曜日 12:10~13:10
■会長/篠原聡一 ■幹事/井原伸 ■広報委員長/松本浩一

2014~2015年度国際ロータリー会長

No.38
平成27.3.20
第2926回



卓話(外部) 『地震にそなえて』

四国中央市消防本部安全・危機管理課
主査 西川 祐也



「準備に勝る安全なし」～過去の災害・被害想定から学ぶ防災・減災対策～
本県に最大の被害をもたらすと想定されている「南海トラフ巨大地震」
この南海トラフは、これまでに100年から150年の間隔でマグニチュード8クラスの地震が繰り返し発生しています。昭和南海地震から70年近く経過した今後、30年以内に70%程度の確率で、次の大地震が発生する可能性があるとして推測されています。それは明日か、30年後かは誰にも予知できないものです。

地震発生時の行動として、まず自分の命を守ることが最優先です。安全を確保し、落下物などから身を守り、揺れが収まってから、落ち着いて避難行動しましょう。20年前に発生した阪神・淡路大震災では、死者のうち約80%は家屋倒壊、約10%は家具等の転倒が原因とされています。また、

救助活動では、約95%の人が家族や友人、隣近所の人に助けられたというデータから、日頃から地域と連携していることで、いざという時の共助の力が発揮されることに注目できます。

一方、東日本大震災から4年が経過し、東北地方の被災地では、未だ復興したとは言えず、今も復旧、復興の槌音が響きわたっています。私たちもいつ起こるか分からない災害に対して、その震災を忘れることなく、過去災害からの教訓を生かし、一人ひとりが災害を正しくおそれ、自分の命は自分で守る「自助」と隣近所で助け合う「共助」を中心に、地域での防災訓練などに積極的に参加し、日頃から備えておきましょう。

平成25年12月に愛媛県が公表した地震被害想定調査結果(最終報告)の本市における被害想定では、最大震度7、最大津波高はT.P3.6m、死者は1000人を超えると見込まれており、建物については2万6千棟が全壊するとの想定から、住宅耐震化などによる地震防災対策や早めの避難行動による減災対策が必要です。

そこで、日頃から家庭や職場で出来る防災対策として、家具を固定することによる転倒防止対策や非常用持ち出し袋の準備をしておき、家族や職場の皆さんで緊急避難場所や避難ルート、連絡手段などを話し合っておくことが大切です。

地震はいつ起こるか分かりません。夜間に災害が発生した場合には、暗闇での移動が余儀なくされることから、飛散したガラスなどで怪我をしないよう、またスムーズな避難ができるように、寝室にはスリッパや懐中電灯などを準備しておきましょう。

また、屋内での家具転倒により避難ルートが閉ざされないように、家具のレイアウトなど今一度家庭内を見直し、いざという時のために、自分たちが出来ることから備えておきましょう。

第2926回 例会 記 録 平成27年3月20日

開会 篠原聡一 会長

①日時 3月31日(火) 休会
②日時 4月7日(火) 夜間例会
(善通寺RCとの合同お花見夜間例会)

来賓紹介

四国中央消防署 安全危機管理課 西川裕也様

場所 観音寺グランドホテル

来訪ロータリアン紹介

(川之江) 山川浩一郎氏

例会行事

卓話(外部)
『地震にそなえて』 西川裕也様

出席報告

出席会員(36名中) 28名
出席率 77.78%
第2924回修正出席率 88.89%

ニコニコ紹介

宮崎茂喜君～先日の弊社会長の葬儀に際しましては、ご多忙中にも拘わりませず、わざわざご会葬下され誠に有難うございました。

会長の時間

幹事報告

・今治RC～愛媛第一分区IMの御礼
並びに記録DVD贈呈について

4月3日プログラム予定

・例会変更通知
(観音寺東)

地区研修・協議会報告

クラブ会報原稿募集!!

会報の空スペースを有効利用して、皆様の身の廻り情報を載せましょう。

①私の趣味 ②最近、私のニコニコ情報 ③その他

だるま印刷 ☎ 24-0945 FAX 24-5094 Eメール: daruma-p@joy.ocn.ne.jp